場面を 式に 書く ドリル②

中1／ドリル 項目7 ②（書く）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・「関係を表す式（等式・不等式）」の 問題。 どの 大問も、式に 書いて 四角に 入れる。不等式は ＜ ＞ ≦ ≧、等式は ＝ を 使う。
・文字の 順は ちがっても ○。

大問1 数と 文字の 関係を 不等式で 書く

(1) b は 15 未満 □

(2) s は 40 以下 □

(3) t は 0 より 大きい □

(4) w は −5 以上 □

(5) c は 100 を こえる □

(6) d は 64 を こえない □

大問2 代金の 合計を 不等式で 書く

(1) 1個 x円の りんご 4個と、y円の もも 1個の 代金の 合計は、900円 より 少ない □

(2) 1個 a円の ケーキ 2個と、1個 b円の プリン 3個の 代金の 合計は、1500円 以上 □

大問3 場面を 等式で 書く

(1) 1個 a円の ガム 6個を 買い、1000円 出したら、おつりは c円 だった。 □

(2) 1個 a円の ケーキ 3個と、1個 b円の プリン 2個を 買ったら、合計は c円 だった。 □

(3) m円 持って いて、1本 p円の えんぴつ 5本と、1冊 q円の ノート 2冊を 買ったら、のこりは r円 だった。 □

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「文字と式」のプリント一覧がひらきます

場面を 式に 書く ドリル②【こたえ】

中1／ドリル 項目7 ②（書く）／目標 12分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

大問1 数と 文字の 関係を 不等式で 書く

(1) b は 15 未満 → **b<15**

(2) s は 40 以下 → **s≦40**

(3) t は 0 より 大きい → **t>0**

(4) w は −5 以上 → **w≧−5**

(5) c は 100 を こえる → **c>100**

(6) d は 64 を こえない → **d≦64**

大問2 代金の 合計を 不等式で 書く

(1) 1個 x円の りんご 4個と、y円の もも 1個の 代金の 合計は、900円 より 少ない → **4x+y<900**

(2) 1個 a円の ケーキ 2個と、1個 b円の プリン 3個の 代金の 合計は、1500円 以上 → **2a+3b≧1500**

大問3 場面を 等式で 書く

(1) 1個 a円の ガム 6個を 買い、1000円 出したら、おつりは c円 だった。 → **1000−6a=c**

(2) 1個 a円の ケーキ 3個と、1個 b円の プリン 2個を 買ったら、合計は c円 だった。 → **3a+2b=c**

(3) m円 持って いて、1本 p円の えんぴつ 5本と、1冊 q円の ノート 2冊を 買ったら、のこりは r円 だった。 → **m−(5p+2q)=r**

丸つけのめやす／つまずきやすいところ

大問1 (1) b<15 (2) s≦40 (3) t>0 (4) w≧−5 (5) c>100 (6) d≦64。以上・以下は ≧ ≦（ふくむ）、未満・より 大きいは < >、「こえる」は >、「こえない」は ≦。

大問2 (1) 4x+y<900 (2) 2a+3b≧1500。「より 少ない」は 等号なしの <、「以上」は ≧。かけ算は 文字の 前に 数を 書く。

大問3 (1) 1000−6a=c (2) 3a+2b=c (3) m−(5p+2q)=r。(1) は 1つ だけ なので かっこは いらない。(2) は 合計。(3) は 全部の 代金を かっこで まとめて ひく。

別解の 扱い: 不等式は 向きを 逆に した 15>b も ○（b<15 と 同じ 意味）。等式は 同じ 意味なら ○（m−5p−2q=r も ○。m−5p+2q=r は 後ろの 代金を たして いる ので ×）。